

(2) 青少年教育活動の充実

- 「地域の子どもは地域で守り育てる」という意識のもと、地域住民や行政の役割分担を明確にし、十分な連携を図りながら、地域で生き生きと活動する青少年を育成する。
- 異年齢集団における様々な体験活動や活力ある地域づくりのボランティア活動情報等を提供したり、各種青少年団体等への支援を促進することにより、地域の教育力の向上を図り、健全な青少年を育成する環境及び体制を構築する。

① 施策の方向

- 各種活動におけるリーダーやコーディネーターの養成と資質の向上
- 地域づくりのためのボランティア活動等への参加促進
- 各種青少年団体との連携強化
- 青少年自然の家をはじめとする社会教育施設や文化施設等の利用促進
- 地域ぐるみで学校を支援し子どもたちを育む活動の推進
- シニアパワーやコミュニティパワーの積極的活用
- 青少年を有害環境から守るための取組の推進

② 具体的な事業等

- 学校支援地域本部事業
 - ・中学校区単位に、地域全体で学校教育を支援するための連携体制（学校支援地域本部）を構築し、地域住民の積極的な学校支援活動を通じて地域の教育力向上を図る。

学校支援地域本部事業 (20年度～22年度)

1 学校支援地域本部とは？

- 地域につくられた学校の**応援団**です。
- 学校のニーズに応じて**地域のボランティア(学校支援ボランティア)**が**教育活動のお手伝い**をします。
- 県内では、20市町村で27の本部(拠点)を中心に展開しています。

2 学校支援地域本部のねらいは？

学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることです。

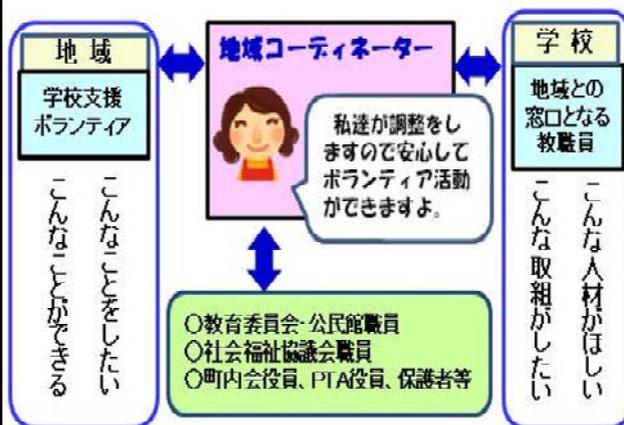
3 学校支援地域本部をおくことのメリットは？

◇学校側のメリット

- 子どもたちの教育活動が充実します。
- 教職員が子どもと向き合う時間が増えます。
- 地域に支えられ、応援される学校づくりを目指すことができます。

◇地域側のメリット

- 地域住民の生きがいと自己実現が図れます。
- 地域住民の社会参加活動の場が得られます。
- 地域社会の活性化につながります。



【学校支援ボランティアの活動事例】



【書写指導の様子(魂沖野小)】



【礼法指導の様子(休藤中)】



【読み聞かせの様子(休藤小)】

できることを
できるときに
できるところから!

○ 放課後子ども教室推進事業

- ・ 小学校の余裕教室等を活用して子どもたちの安心・安全な居場所を確保し、学習活動や様々な体験活動、文化活動等、地域の方々の参画を得て子どもたちに提供することで、豊かな心を育成するとともに、地域の教育力の向上を図る。



- みやざき子ども読書活動推進事業
 - ・全県的に子どもの読書活動を推進することで、学校、家庭、地域が一体となって県民総ぐるみで子どもたちの「人間力」を育む。
 - ア 宮崎県子ども読書活動推進委員会の開催
 - イ みやざき子ども読書活動推進フォーラムの開催
 - ウ 読書活動推進指導者養成講座の実施
 - エ 親子の絆を深める子育て読書推進支援事業の実施

